

会報「ふえらむ」電子ジャーナル化に寄せて

会報委員会 委員長 山本三幸
会報委員会 電子化WGリーダー 三木貴博

「ふえらむ」は日本鉄鋼協会の会報として1996年に創刊され、本年で創刊20年目となります。既に、論文誌「鉄と鋼」、「ISIJ International」はJ-STAGEにて電子ジャーナルで提供されており、最近の電子化の流れを踏まえて、また、会員サービスの向上を図ることを目的として、「ふえらむ」の電子ジャーナル提供を本年から開始しました。会員の皆様にとって、最も身近な存在である「ふえらむ」の発行形態が大きく変わり、本会ホームページからPDF形式のファイルをダウンロードいただく形になります。毎月発刊される際に、ホームページや電子メール等でご案内いたしますので、ご面倒をお掛けいたしますが、アクセス・ダウンロードいただきますようお願い申し上げます。

電子化のメリットを感じていただけるのは、バックナンバーをお探しになる際かと存じます。会報委員会では、今後、順次バックナンバーを提供していく予定ですが、これまで発行された数多くの有用な記事へのアクセスが容易になります。著者名、キーワード等での検索が可能になり、「ふえらむ」のポテンシャルをこれまで以上に活用いただけることになり、会員の皆様へのサービス向上となると確信しております。また、会報委員会ではホームページリニューアルを既に進めており、これまで「ふえらむ」で掲載していました「会員へのお知らせ」の多くについては、ホームページのイベントカレンダーや該当箇所に掲載いたします。

学協会の会報電子化はまだ殆ど進んでおらず、本会がほぼ先陣を切る形になります。タブレット、スマートフォンが急速に普及し、紙媒体ではなく電子媒体で書籍を読むことが特別なことではなくなっています。会報委員会では電子化の利点を最大限に生かし、これまで以上に、目を通してもらえるような、役に立つ記事をご用意いたします。

また、本年中は従来通り「ふえらむ」の冊子版も全会員に配布されますが、来年2016年から冊子体の配布を停止し、冊子体希望者に有料で提供することになります。これを機会に「ふえらむ」の表紙を、鉄原子の原子核をモチーフとし、原子核のように作り上げていくとのコンセプトで一新しました。今後ともリニューアル版「ふえらむ」もよろしくお願いいたします。



ふえらむ1号 表紙



鉄と鋼1号 表紙